キリリウ字 ラブンマミ キリル文字

-もじゅかたち-

























似てるのは





ユニキア文字は石から左にかかれたので左右逆になってたりする

又は前四分三世紀ころからこの形が現れ、中世までこの形で手書きされることが一般的だだとのこと キりル文字の月や月は

イオニア文字と

 $\Sigma \downarrow C$

いかれまできたから れに一本線を追加して 区別しやすくした って感じかな

ラテン文字のアヤスは







丁が了から作られたから 形が似てるんだねく) 結構違わない? フランス語で ラテン文字のごで サル文字のかに 対応するのが ギリシャ文字のじゃ 形同いな6は 偶然の致 キリル文字のひと

対応するキリル文字 Iも

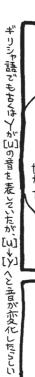
でも

発音

ラテン文字なに ギリシャ文字なるや この音を表す

あっぱのだけど



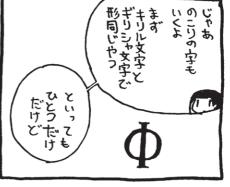








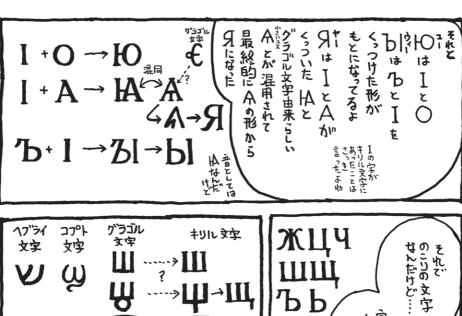








○はは世紀に巨(ら)の異字体として現れら世紀から現在のような区別に使われるようになだとか



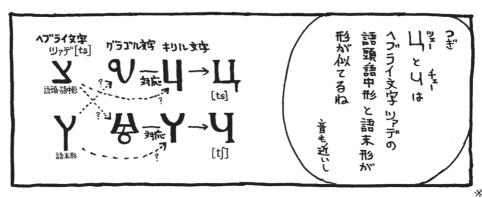


なんだ それこ



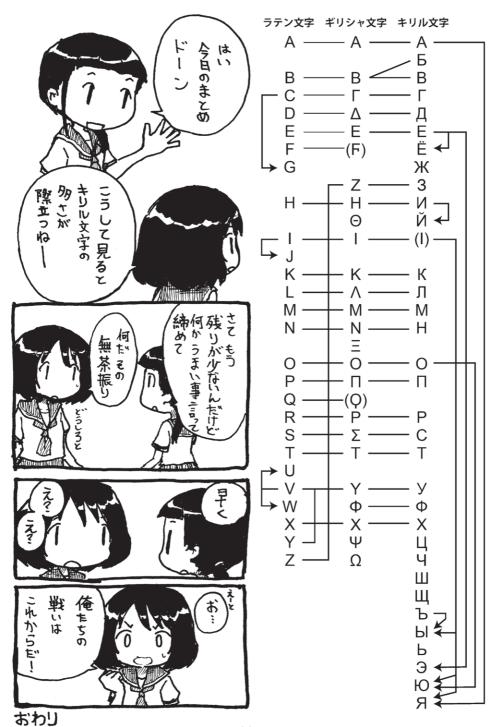
グラゴル文字出は山と好の会字だとか

IHIOYE XPIETOE





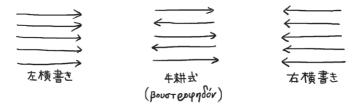




補足、あるいは蛇足

文字の書かれる方向について

フェニキア文字は右→左に書いていました。初期のギリシャ文字やラテン文字についても同様に右→左に書いていましたが、次第に行が変わる度に書字方向が変化する牛耕式になり、最終的に前五世紀ころに左→右に書くようになったようです(地域によって変化時期は前後したり、複数の書字方向が併用されていた可能性はありますが)。牛耕式で書く場合には、右→左で書く時と左→右の時とで字の形が反転(鏡像反転)するようです。すなわち、書かれる文字の形と書字方向が強く結びついているのですね。



月について

本編でも多少書きましたが、現在のЯという文字は、初期キリル文字において対応するものが二つあります。На (а йотированное, 口蓋化アー)と (малый юс, 小さいユス)です。初期にはНаが [ja] の音に、Aが鼻母音の[ɛ]に対応していたと考えられていますが、次第にAで表される音が消滅しHAと同音の [ja] となり、両者の区別がなくなりました。そして同じ文字の異字体として、語頭ではHA、語中・語末ではAとして(あるいは文法的な規則にしたがって)書き分けられるようになり、最終的にピョートル一世の文字改革(Гражданский шрифт)で Яに統一されました。Яの字については音としてはHAを継承していますが、形の上ではAが変化したもので、16世紀の速記体(скоропись)にその形が見られるようです[2]。また、Aの形はグラゴル文字の対応字 €を右に 90 度回転させたものから来ているとのこと [1]。

Юについて

初期はギリシャ文字の連字 α に倣って α と書いたのがもともとだが、母音の前に [j] がつくような口蓋化母音(軟母音)の α , α , α , α , α に合わせて α の形になったそうです [1]。キリル文字がつくられた時代にはギリシャ語の α は [y] の音であったためにその 組み合わせが [ju] の音をあらわすために使われるようになったという説があります。 あるいは [u] を表す α を分に対応する α は α が抜け落ちたのかもしれません [3]。

キリル文字について

一応タイトルにキリル文字ってつけてしまったのですが、それについて補足しておきます。この本では「キリル文字」をロシア語の文字と同一視していますが、やや不適切な面があります。というのはロシア語アルファベットだけがキリル文字というわけではないからです。

ギリシャ文字がギリシャ語、ラテン文字がラテン語の表記のために整備された文字であるように、キリル文字はもともと南スラヴ系の古代教会スラヴ語を書き表すためにつくられました。そしてその文字はかなり早い段階で東スラヴ系の言語の表記に使われる様になりました。東スラヴ系の言語には、現在使われているものでは、ロシア語、ウクライナ語、ベラルーシ語等が、南スラヴ系にはブルガリア語、セルボ・クロアチア語等があり、これらはキリル文字で表記されます。また、ソ連の影響下でキリル文字はスラヴ系以外の言語の表記にも使われるようになりました。

キリル文字によって表記される言語でも、それぞれの書記体系で使用する文字が異なっていたり、文字と音との対応がずれていたりします。なので、ロシア語の文字だけがキリル文字ではない、ロシア語以外のキリル文字(による書字体系)もあるのだ、ということを補足させていただきます。

第2版あとがきに代えて

コミックマーケット 88 等で頒布した、ロシア語の文字(キリル文字)に関する同人誌「ロシアの文字の歴史」をネットで公開しています。キリル文字の歴史として本書と関連する部分は多いですから、こちらも併せてお読みくださると理解が深まるかもしれません。次のアドレスから読むことができます。

http://nixeneko.hatenablog.com/entry/c88 russian alphabet

参照

- [1] 『言語学大辞典 別巻 世界文字辞典』(三省堂、2001)、「キリル文字」の項
- [2] Скоропись XVI века., http://xlt.narod.ru/pg/sk16.html
- [3] Wikipedia Yu (Cyrillic), https://en.wikipedia.org/wiki/Yu (Cyrillic)

おとがき(初版)

これ漫画である必要なくない? ですか?

お分も多いので、あまり信用しないででさい。 内容 については、あまりにっかり検証できていない内容については、あまりにっかり検証できていない中記

最後の方に字の形の比較があります。――スラヴ文化の礎を作った人たち――ひという本で、元ネタとしては、原求作「キリール文字の誕生

© S S

もまとめたいと田心うので、そちらも女をにしてくだ

サポートページに参考にした人参考になりそうなやしジ

さればと思います。

この作品は、クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。

あとはほぼだいたいウキやデアです。

© 2016 nixeneko

奥付

タイトル ギリシャ文字・テン文字・キリル文字 ―― もじのかたち ――

発 行者 にせぬて (@nixeneko, http://nixeneko.hatenablog.com)

サークル名 ヒュアリニオス

発行日初版 2016年8月14日(コミッウマーケット90)

第2版 2016年 12月 31日 (コミックマーケット 91)

印 刷 株式会社ポプルス

連絡先 info@nixeneko.sakura.ne.jp

サポートページ http:// hyalinios.hatenadiary.com/entry/c90-alphabet

EAAHNIKOS LATIN KUPHANIJA